

相談事例

富山県立大学 学生会館

<相談>

平成30年春、富山県から「富山県立大学の学生会館を富山県産材を使用して建築したい」との相談がとやま県産材需給情報センターにありました。

<情報>

施主（富山県立大学）が希望する部材の調達をスムーズに行えるよう、施主、建築会社、設計事務所、富山県、とやま県産材需給情報センターで会議を重ね、必要な樹種等の集荷状況や製材に関する協力工場の情報を共有しました。

<結果>

富山県内で初めて構造材にCLT（直交集成板）を採用するとともに、建物全体に富山県産のスギ・ヒノキをふんだんに使用し、温かみのある学生会館に仕上がりました。

写真2のホールについては正十二角形の大きな空間となっており、100人程度が収容でき、ダンスや音楽系サークルの活動場所として利用するために、吸音材や二重窓・ペアガラスなどを用いて遮音性を確保する仕上がりとなっています。

平成31年4月20日に竣工式が行われました。

<施設概要>

名称 富山県立大学 学生会館
所在地 富山県射水市黒河
構造 木造2階建（木造軸組CLT耐力壁、木造フレーム構造）、基礎は浅層地盤改良および杭基礎
延べ床面積 859.88㎡
各室 ホール（100人程度収容）、談話コーナー、学生会室、部室（10室）、留学生支援室 等



写真1：外観



写真2：ホール